様式４

令和２年９月24日

令和2年度　　学校関係者評価及び改善策

（ 中間・最終 ）

広南中学校区　校番　２　学校名　呉市立広南中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	○昨年度の課題「自分の考え（主張，事実，論拠）を相手に分かりやすく伝える」ことについて，適切に目標を設定している。 ○生徒や教職員のアンケート結果や観察など，多面的に指標を設定している。
目標達成のための方策の適切さ	A	○１学期の方策や今後の方策についても適切である。 ○目的（課題）に応じたタイムリーな指導を行っている。 ○今後も，昨年度の成果と課題を生かしながら積み上げる教育活動を期待する。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	○生徒アンケート，保護者アンケート，教職員アンケートと三者の評価を集め，具体的に結果を把握し，分析している。また，データだけでなく管理職の観察や生徒の行動や思いなど，直接関わる中で見取っている。
今後の改善策（案）の適切さ	A	○１学期は，新型コロナウイルス感染症対策の中で十分な取組ができなかったが，今後可能なところで取組の成果と課題を整理し，焦点化した具体的な改善を望んでいる。
その他	＜授業参観を通して＞ ○新型コロナウイルス感染症対策の中で，様々な配慮や工夫をしながら，教職員は，元気よく授業を行い，生徒たちが安心して授業に臨むことができている。 ○効果的なICTの活用や，現代の問題をタイムリーに扱うなど，大変興味深かった。 ○コロナ対策を行った上で，教え合うなど，生徒同士で関わり合う場面もあり，学級力を高めるためにも効果的であった。 ＜全体を通して＞ ○生徒は校内外で，あいさつをしっかりとしてくれる。地域の大人も元気が出る。 ○広南中学校が，地域貢献を大切にしており，「地域の学校」であることが大変うれしい。 ○コロナウイルス感染症対策の中であるが，可能な限り，生徒たちに活躍できる場を今後とも設定してほしい。 ●コロナウイルス感染症対策の中，直接学校で生徒の姿を見ることができなかったので，学校を遠くに感じでしまうこともあった。今後も，人とのつながりを大切にし，校区での地域貢献を期待する。	

※　評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	①授業改善について【ことば磨き】 （1）三角ロジックの考え方に基づき，自分の考え（主張，事実，論拠）を相手に分かりやすく伝えることができる場面設定を行う。 （2）授業者は，生徒自身が自分の考えを述べ，相手の意見を聞きながら，自分の考えを深めることができるよう，教材の工夫や発問の精選を行う。 ②生徒の挑戦する場の設定について【資質・能力の育成】 （1）ICTも効果的に活用しながら自分で情報収集し，テーマに沿って，自分の考えを根拠をもって表現する場を学習の中で設定する。 （2）総合的な学習の時間を中心に，「志→準備→挑戦→振り返り」の学び方にそって，生徒の挑戦する場を設定し，生徒の資質・能力を育成する。 ③教職員の業務改善による生徒に直接向き合う時間の確保について【業務改善】 （1）必ず前年度の成果と課題及び改善策を確認した上で，今年度の実践を行う。（スクラップ＆ビルドの視点で） （2）今年度の実施した取組の成果と課題を受けて，来年度の計画（改善案）を作成しておく。